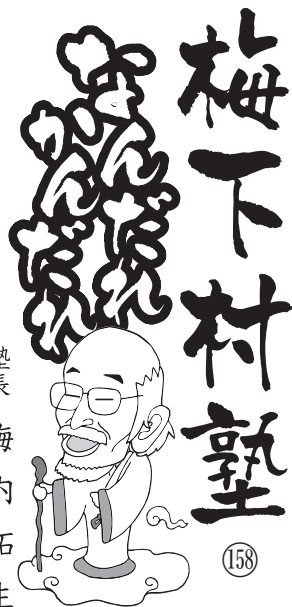


「森と水と命の惑星」国際会議

～地域と世界の心と魂を詠む～



塾長 梅内 拓生

(心と魂のよみがえり)

地殻変動、地球温暖化、地球は盛んに運動を行っており、人間が営む社会も大きな変動を行っている。

隣国々々では人々の不満を外にむけるための筋書きを作りいろいろの宣伝をしていく。今回の4月末の韓国の海難事故と事件に巻き込まれた人々のことを思うと心が痛む。

この事故と事件の奥には、政治宣伝では解決のできない、歴史と文化に潜んでいる家族、地域、国の心と魂に触れるものがあることに、韓国の人々が関心を持ち始めているようである。これは、中国、北朝鮮、日本はもとより、広く世界の国と民族に共通する心と魂のよみがえりである。

2011年3月11日の東日本大震災に忍耐

と規律ある行動で対応した気仙の人々の態度は世界の多くの人々の気持ちの奥に潜んでいる心と魂をよみがえらせた。

気仙地方は1960年5月にも地球の遠く裏側にあるチリ国に生じた津波の大きな被害を被っている。これらの大きな困難に耐えてきた経験を持つ気仙地方は、韓国をはじめ近隣の国々が遭遇した困難を乗り越えるために、他人を非難して責任を他人のせいにするのではなく、自分の心と魂を受け止め、大切な事を世界に発信する事を目指さなければならぬ。

気仙の伝統芸能の鹿踊りと鬼剣舞にはこれらの願いが込められている。

4月22日東海文芸みさご句会 4月句会 兼題「春の風」雑詠

(香りと声)

小田原悦子
春風に託し供花の香届けたき

歓声につつまれ遊具風光る

花の香りと人の声、自然の魅力と人の魅力は素晴らしいですね。

返句
花の香や 声をつつんで 春の風

(八十路の標)

今野育子
検診の先づは良好春の風

山笑ふカレーの好きな八十路にて

カレー好きで食欲旺盛で山歩きをする、お元気ですね!

返句
カレー好き 検診正常八十路

(行きずりと来客)

佐々木峯子
来客の連れて入りぬ春の風

行きずりの笑みを交はして花の道

春風を連れてきたうれしい来客だったのですね、それが笑みとな

って道行く人と笑みを交わしたのですね!

返句
笑み交す 花の香りや春の風

(蓬と春風)

菅原智子
パトカーの後を追ひかけ春疾風

野に畑に呼ばれて来た蓬摘む

パトカーのサイレンは車道を疾走する。畑ではのんびりと蓬を摘み春を楽しむ。

返句
春風や 昔にかえり蓬摘む

(鴨と鰯大根)

鈴木八枝子
津波跡残る川辺に鴨の陣

二階より子の降りてくる鰯大根

家の中では2階から子どもが階段を音を立てて下りて来る。外では鴨が津波跡の川辺で静かに群がっている。

返句
野に畑に 春風吹いて蓬摘む

(故郷と潮干狩り)
田代光子
春の風故郷に便り頼み

たし

浅利掘る磯を奪ひし大津波

自然には大きな破壊力と再生力がありますね!

返句
大津波 磯は甦りアサリ掘る

(なじむ)

千葉芳子
新しき土地に馴染めば燕来る

山鳩の鳴くや母恋ふ春の山

新しい土地になじむと暮らしが立って充実します。

返句
燕来る 馴染めば鳩や春の山

(昼と夜)

舟野 広
鳶職のズボン春風はらみ来る

春の闇揺らし船笛届きけり

春風の吹く穏やかな屋の海と、夜の闇から汽笛が聞こえて来る海、昼と夜の海は異なる世界ですね。

闇深し

(春の波間)
村上 鉄郎
波立つや軋む艦綱春疾風

藪椿落ちて波間に紅を挿す

春の海辺の風は疾風となったり、穏やかになったりしますね。藪椿は海に落ちて一点の紅を添えているのですね!

返句
藪椿 波間に紅や 春の海

(とわずがたり)

ノリ 科学の世界でも宇宙のミステリーである暗黒物質や暗黒エネルギーをも視野に入れる時代にはいつているのだなあ!

オサム 心と魂は暗黒物質や暗黒エネルギーと関係してくるのかなあ!

アツシ 意識の世界の奥にある、深い無意識の世界の価値を掘り起こすことを目指さねばならないのかなあ!

ノリ まさに心と魂の世界に触れることを目指すことになると思うよ!